

稲作追肥手法の特徴

	10a当たりの作業時間 (基肥散布作業との合計)		労働負荷		必要人員		散布機械・器具 の価格
短 ↑ 時間 ↓ 長	・肥効調節型肥料の育苗箱全量 施肥法 (約3～6分) (基本的には追肥不要。)	小 ↑ 負荷 ↓ 大	・肥効調節型肥料の 育苗箱全量施肥法 ・肥効調節型肥料の 側条施肥法 (播種や田植えと同時作業 で施肥。また基本的には追 肥不要。)	少 ↑ 人員 ↓ 多	・肥効調節型肥料の 育苗箱全量施肥法 ・肥効調節型肥料の 側条施肥法 ・水口流し込み施肥 ・背負式動力散布機 ・手動散布機 ・手撒き (1名) (側条施肥法は田植え作業 の肥料補給、育苗箱全量施 肥法は播種作業の肥料補 給に追加的に必要な人 員。)	安 ↑ 価格 ↓ 高	・水口流し込み施肥 (再結晶化する尿素など、肥料に よっては器具が必要。)
	・無人ヘリ散布 (約5分)						・手撒き
	・乗用管理機 (約10分)		・水口流し込み施肥				・手動散布機
	・水口流し込み施肥 (約10～15分)		・無人ヘリ散布				・背負式動力散布機
	・肥効調節型肥料の側条施肥法 (田植え作業込みで約12～15分) (基本的には追肥不要。田植え作業は工程 が増えるため慣行よりも時間がかかる。)		・乗用管理機				・肥効調節型肥料の育苗 箱全量施肥法
	・背負式動力散布機 (約15～30分)		・背負式動力散布機				・肥効調節型肥料の側条 施肥法 (施肥機付き田植機)
	・手動散布機 (約35分)		・手動散布機		・乗用管理機 (1～2名)		・乗用管理機 (管理機と施肥機の合計)
	・手撒き (約65分)		・手撒き		・無人ヘリ散布 (2～3名)		・無人ヘリ散布

※追肥手法一覧の機械・器具を使用した場合の目安

※ほ場区画の大きさや形等による影響は考慮していない

※同一条件で比較検証したわけではなく、想定も含まれることに留意